

TA- ことだまU

山田正彦 ヤマダマサヒコ

の 夜

宮沢賢治

Miyazawa Kenji

(1896-1933)

- 一、午後の授業
- 二、活版所
- 三、家
- 四、ケンタウル祭の夜
- 五、天気輪の柱
- 六、銀河ステーション
- 七、北十字とプリオシン海岸
- 八、鳥を捕る人
- 九、ジヨパンニの切符

鉄銀 道河

七、北十字と

プリオシン海岸

二人は一度にはねあがってドアを飛び出して改札口へかけて行きました。

ところが改札口には、明るい紫がかった電灯が、一つ点いているばかり、誰も居ませんでした。

そこら中を見ても、駅長や赤帽らしい人の、影もなかったのです。二人は、駐車場の前の、水

七、北十字と
プリオシン海岸

二人は一度にはねあがってドアを飛び出して改札口へかけて行きました。

ところが改札口には、明るい紫がかった電灯が、一つ点いているばかり、誰も居ませんでした。

そこら中を見ても、駅長や赤帽らしい人の、影もなかったのです。二人は、駐車場の前の、水晶細